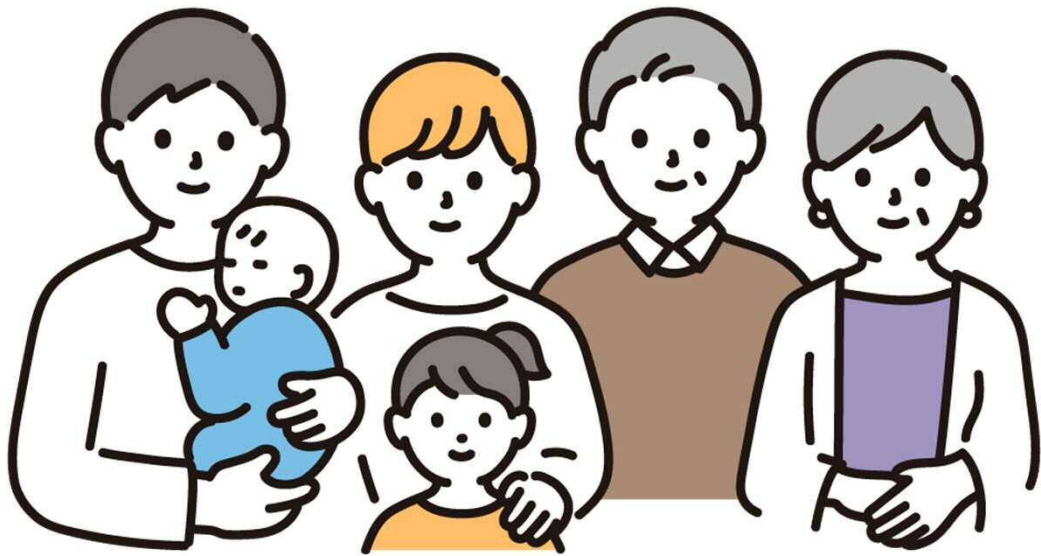


# 森孝の子どもたちがいよいよ 輝き続けるために

本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校の統合  
及び森孝中学校との併設(案) について



令和7年6月4日、7日、8日に森孝中ブロックの児童生徒と未就学児の保護者の方を対象とした、統合案に関する意見交換会を開催し、様々なご意見等をいただきました。

意見交換会でいただいたご意見等を踏まえ、森孝中ブロックでの望ましい学校規模の確保の取り組みに対する教育委員会としての考え方を改めて整理させていただきました。

なお、正式に統合が決定しているわけではありませんので、あらかじめご承知ください。

名古屋市教育委員会 教育環境整備課  
令和7年10月

## ① なぜ3小学校を統合するの？

本地丘小・森孝東小・森孝西小はいずれも小規模校であり、右表のとおり今後さらに児童数が減っていく見込みです。

※児童数は、本地丘小は市内小学校の中で最も少なく、森孝東小も11番目に少ない状況です。(R7.5月時点)

	令和7年度		令和10年度		令和13年度	
本地丘小	54人	6学級	32人	6学級	19人	6学級
森孝東小	130人	6学級	137人	6学級	111人	6学級
森孝西小	207人	9学級	178人	7学級	142人	6学級
森孝中	220人	7学級	196人	6学級	181人	6学級

小規模校の方が職員の目が届きやすいのであれば、小規模校の方がよいのでは？

本地丘小と森孝東小の2校を統合すれば済むのでは？

1クラスの人数の上限は小規模校も統合校も変わりませんので、適正規模の学校でも教職員の目が届かないことはないと考えています。一方、小規模校ではクラス替えができないことで人間関係が固定化してしまうことになり、多くの人や様々な考えと出会う機会が限られてしまうなどのデメリットがあります。

本地丘小と森孝東小だけを統合しても小規模校のままとなってしまいます。そのため、森孝西小を含め3校の統合が必要であると考えています。

3小学校の統合することで、望ましい学校規模を確保することを検討しています。

## ② どこで3小学校を統合するのがいいの？

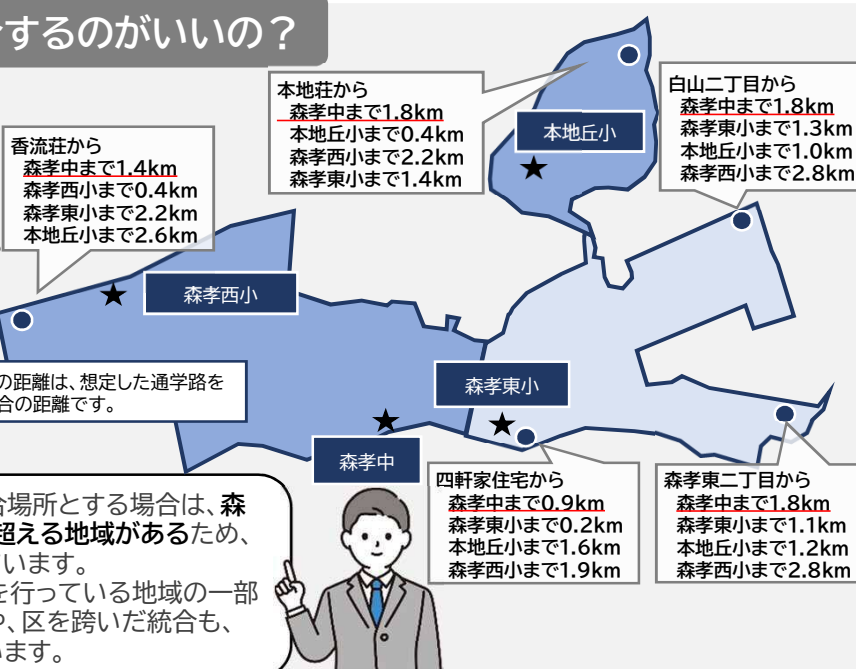
本市の通学距離の基準として、小学校では2km以内としており、森孝中の場合以外を3小学校の統合場所とした場合、いずれかの学区の子どもにとって2kmを超える子どもが出てきてしまいます。

学区の概ね中央に位置し、全ての学区の子どもにとって2km以内となる森孝中の場所を3小学校の統合場所にしたいと考えています。

森孝東小の場所の方がよいのでは？

森孝東小の場所を統合場所とする場合は、森孝西学区から2kmを超える地域があるため、妥当ではないと考えています。また、長年、地域活動を行っている地域の一部分が変わる学区の分割や、区を跨いだ統合も、課題が多いと考えています。

それぞれの距離は、想定した通学路を歩いた場合の距離です。



## ③ 森孝中の場所で小学校を統合するなら、森孝中はどうなるの？

中学校の教育活動において、教室での授業や通常の学校運営を行うには、森孝中の場所以外でも、森孝中の場所での小中併設でも、どちらでも大きな差はないと考えています。

ただ、体育の授業や体育祭、部活動などを現在と同様に行うためには、運動場をできるだけ広く確保することが望ましいと考えています。

4つの学校が森孝中の場所でひとつになるのは、敷地が狭いのでは？

小学校は森孝中の場所で統合し、森孝中は森孝東小の場所へ移ればよいのでは？

小中学校の併設校は森孝中の敷地だけで教育活動が可能であると考えています。地域の方や学校現場等から運動場の広さについて心配の声をいただいたため、中学校部活動を中心として、より充実した活動ができるよう、森孝東小の運動場をサブグラウンドとして活用する計画案としました。

中学校の教育活動では、運動場のトラック、競技種目のコート、格技施設など、小学校と比べて多くの面積を必要とします。森孝東小の場所ではそれらの面積を十分確保できないと考えています。

森孝中の敷地が最も広く、運動場面積を広く確保できるため、現在の場所が最も適していると考えています。そのため、小中併設の利点も踏まえ、森孝中の場所で、小中併設型の学校を開校したいと考えています。

区分	森孝中	本地丘小	森孝東小	森孝西小
校地面積	16,545㎡	15,920㎡ 内自然林 6,520㎡	13,320㎡	15,006㎡
運動場	9,266㎡	4,421㎡	6,163㎡	7,166㎡

#### ④ 小中併設になると、どんな課題や利点があるの？（笹島小中学校の事例から）

##### 課題

- 体格が大きく違う小学校低学年と中学生が同じ校舎で生活することによる、子どもたちの移動時の安全面への不安。
- 小学校低学年の放課時の声が中学生に影響を与えないか。
- 小学校と中学校では授業時間が違うため、児童生徒へはどうやって始業と終業を知らせるのか。
- 小学生と中学生が共用する運動場や体育館、特別教室などでの授業はこれまで通りできるのか。
- 小学6年生にとって小学校の最高学年としての意識をどのように持たせるか。

##### 利点

- 中学生が小学生を手伝ったり、優しく声掛けする姿が見られる。小学生にとっても中学生に対して憧れを抱く育ちが期待できる。
- 小中学校の職員室が同じ敷地内にあることで、日常的に情報交換ができ、中学進学の際の変化について円滑な接続を確保できる。
- 小中学校での合同行事が盛んに行われる。
- 小学校高学年の授業では中学校の教員が専門性を活かして授業を担当することができる。
- 教職員の数を一定程度確保できるので、多くの大人の目で見取ることができる。

課題に対しては、  
どう対応するの？

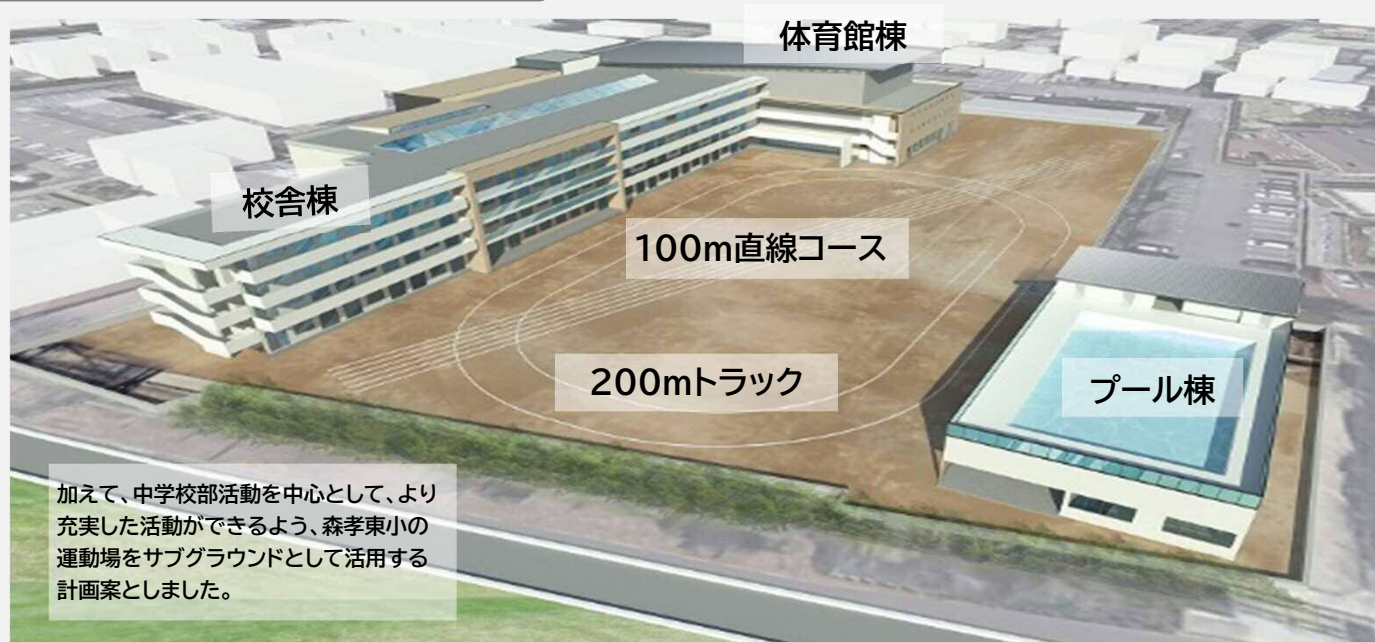


笹島小中学校の運営などを参考にしながら対応を検討します。例えば、  
○教室等を階層別に低層階(1・2階)は小学生、高層階(3・4階)は中学生が主に使用する教室を配置する、昇降口を別々にするなど、日常生活での接触や声が響くのを軽減するよう検討する。  
○学校チャイムは小学校で使用し、中学校はチャイムを使わず学校生活をするよう検討する。  
○時間割の工夫や行事日程の調整、放課時間の施設使用のルールを設けるなど、小学校と中学校が調整を行いながら、子どもたちができるだけ快適に過ごせるよう検討する。



森孝中の場所で3小学校を統合し、森孝中との併設とするため、その課題に対応しながら、併設の利点を活かし、森孝中ブロックの全ての子どもたちにとって、より良い学校となるよう検討していきます。

#### ⑤ 新しい学校のイメージは？



##### 【校舎棟】

- ・小・中用教室（特別支援学級含む）
- ・図書室、音楽室、理科室、家庭科室、図工室、美術室、技術室
- ・調理場、ランチルーム、多目的室 など

##### 【体育館棟】

- ・体育館
- ・第2体育館（兼格技場）
- ※重層化し面積を確保
- ・トワイライトスクール

##### 【プール棟】

- ・屋上プール
- ・会議室（地域利用も含め）
- ・器具庫 など

※イメージ図であり、実際の設計・建築の際には配置などは大幅に変わることがあります。

## ⑥ 通学の安全はどう考えているの？

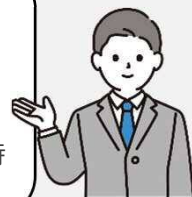
通学路はどこを想定しているの？  
大きな道路もあって心配です。

熱中症への対策はどう考えているの？



統合の前年度までに、保護者や地域の方々とともに、地域の特性を踏まえながら、市外の一部を通学路にするなど具体的な通学路の設定とその安全対策について検討します。  
また、通学練習会を実施する等、交通安全指導にも取り組んでいきます。  
通学路上の安全対策については、警察・土木事務所など関係機関との連携を行っていきます。

これまでの統合校では、次のような対応をしています。  
○日傘、首を冷やすグッズ、スポーツドリンクの携帯を認める。  
○下校時、水筒の中身が無くなっている場合には水分の補給を徹底。  
○通学支援員を配置し、通学に慣れるまでの一定期間、一番遠い分団の子どもたちと一緒に登校。  
さらに、統合によって通学距離が長くなる子どももいることを踏まえ、登下校時の避暑スポットを確保するなど、さらなる対策も検討したいと考えています。



## ⑦ 今後のスケジュールは？

	令和7年度	令和8・9年度	令和10～13年度	令和14年度～
本地丘小学校の場所	本地丘小学校		統合校 東校舎 ※森孝東小と本地丘小の児童 R10 統合校開校 ※東校舎と西校舎に分れて	新校舎へ引越し
森孝西小学校の場所	森孝西小学校		統合校 西校舎 ※森孝西小の児童	森孝東小運動場を森孝中サブグラウンドとして利用開始
森孝東小学校の場所	森孝東小学校		改修工事 R11～森孝中 仮校舎 R10:改修工事(中学校仕様) R11:森孝中が移転	小中併設型の学校の開校
森孝中学校の場所	森孝中学校		R11～R13年度 新校舎 建設	
審議会に諮問・答申 教育委員会が統合決定する。		統合校の開校に向けた学校づくりの協議 ※校名・校章などの検討、通学安全の検討など	森孝中は、森孝東小の校舎を中学校仕様に一部改修した後、仮校舎に移転	

※統合がスムーズに進んだ場合を想定したスケジュールになっていますので、調整状況によって変わってきます。

森孝中の仮校舎は、なぜ森孝東小なの？  
本地丘小を森孝中の仮校舎として、森孝東小を統合校東校舎にする方がよいのでは？

主に以下の点を踏まえ、森孝東小とする方がよりよいと考えています。  
○小学校は、どちらの小学校でも、現状の教育活動を支障なく行える。  
○中学校は、体育の授業や部活動を行うことを想定した場合、本地丘小は森孝東小より運動場が狭いため、比較して教育活動への支障がより大きくなる。  
○本地丘小の自然林は、中学校よりも小学校の方が有効に活用できる。

統合決定するまでの間に、今後どのようなタイミングで意見を吸い上げてもらえるの？

現在は、統合プラン作成のため、保護者や地域の皆様から、ご意見等をいただいている状況です。  
そのご意見等は、外部有識者で構成する審議会にもお伝えし、統合プランを審議していただきます。  
また、審議会から答申を受けた後に開催する保護者・地域の方への説明会においても、ご意見等をお伺いします。



統合すると学区単位での地域活動も統合されるの？  
また、学校跡地はどうなるの？

これまでの統合事例では、地域活動は従前と変わりなく同じ単位で活動をしていただいています。  
また、学校跡地の活用方法は、今後、名古屋市全体で検討することになりますが、これまでの統合事例では、避難所や地域活動の拠点は確保されています。



名古屋市教育委員会事務局教育環境整備課  
電話:052-972-3282 FAX:052-972-4176

E-MAIL:a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

※これまでの取り組みや配布資料については、下記のURLかQRコードからご覧いただけます。  
<https://www.city.nagoya.jp/kurcategory/11-10-5-5-4-5-0-0-0-0-0-0-0.html>

